

寺院名物シリーズ⑮ 鹿足組 教西寺

学僧 大巖 (1791~1856)

仏教学者、字は僧具、号は硯州。

益田市高津町、当時の庄屋宮内恒助氏の二男として誕生。大巖出生の伝説に、妊娠中に死亡した母胎から墓の中で生まれ、母の亡霊に飴をもって育てられたという物語がある。幼にして高津教西寺第四世住職義濫師の義子として教育され、18才の頃、履善門下に入って宗学を受けた。後に山口県江崎・教専寺第十世住職となり、安政3年9月、66才にて入寂した。

有名な大巖師詩文

網極の仏恩報謝の情

清晨幽夜ただ称名

歎びにたえたり

われ唱われ聴くといえとも

これはこれ大悲招喚の声

このうたの味わいについては略します。



# 山陰

編集 山陰教区基幹運動推進委員会  
発行 山陰教区教務所  
〒900-0001 松江市大正町四三ノ一  
TEL 〇八五二 〇八五二  
FAX 〇八五二 〇八三二  
往 〇八三二 〇八三二  
生 〇八三二 〇八三二

本願寺山陰教堂

二〇〇九年度 組報告書から

二〇〇九年度教区基推委をふりかえる

山陰教区相談員 朝枝 俊 円

二〇〇九年度の山陰教区基幹運動推進委員会が任期満了に伴う改選により、新規に六四名の委員によって構成されたのも束の間、早一年を経過しようとしている。今年度をふりかえる時、まず特筆すべきは本願寺山陰会館が山陰教堂と名称を改めると同時に、その増改築に関する計画が始まり、また、組画再編成に向けての準備がスタートしたことである。

これらを横目にしながら、特に基幹運動総合計画の基本方針について点検してゆくと、「男女共同参画」はその企画や計画等のスタート時点からの女性の参画が言われているが、これは寺院や組及びその連盟等の役員構成によるところが大きい。組基推委の現況を見ると、トータルで男性三三五名、女性一二三名。常任委員は男性五〇名、女性一〇名である。直接的な参画には時間が必要であろう。しかし、これはまた「門信徒と僧侶の課題の共有」という場面で、女性や門信徒の声を反映した活動となることで克服できようかとも思う。

「御同朋の願いに応える教学（御同朋の教学）の構築」をめざすことは、それらの声にも耳を傾け、寄り添い活動を展開することである。実際、二一年度、二二年度は各組でお待ち受け法要が実施されるが、その企画、準備、そして実施に至る過程等の各場面で、あるいはキッズサンガにおいて共同参画、課題の共有を図ることができようし、それをステップとしてさらなる飛躍を期待するところである。そして、これらの活動の具体的な推進母体、基盤となるものが各基推委であり、教化団体、門徒推進員である。僧侶と門信徒（総代会）での話し合いが十分に行われ、意志の疎通が図られることが、当然のことながら重要である。このことを本年度報告の「門信徒会運動研修協議会」の事前協議会の開催を一例に見ると、実施された二三組中門信徒の参画があったのは一、二に過ぎない。お互いの建設的な意見が切磋琢磨してゆくことを望んでやまないところである。

二〇一二年度からは新体制でスタートを切る。

# 新門様教区へ巡回並びに

## 直屬寺院へ巡拝

山陰教区組長会長 日 溪 清 毅

(神門組正蓮寺)

大遠忌お待ち受け気運の高揚と円成を期して、平成二十年十一月六日、山科別院から始まった新門様へ巡拝は、山陰教区では二十一年十一月十八日と定められました。

当教区は、交通不便の地であり、天候不順な初冬であるため、新門様、新裏方様は前日に御着になられました。

新門様は、現在、東京築地本願寺の副住職でもあるので、五日間の報



ご到着後、本堂にて礼拝されるお二方



満井秀城・随行講師よりご法話をいただきました

恩講をお勤めになり、引き続きの旅でしたので、さぞかしご苦労のことであったと推察いたしました。若いお二方ですので元氣にお着きになりました。

公式行事は、十八日十時三十分より教務所長、教区会議長、組長会長による教区の現況報告があり、過疎問題では特に質問が多く、教区が抱える問題には重大な憂慮をお示しになりました。



「集い」では教区の課題などについて意見発表がありました

続いて、本堂にて六十一名の帰敬式が厳粛に執行されました。

午後からは、教区代表者と開催されたメイン行事である『教区巡回の集い』がもたれ、随行講師の満井秀城師の記念法話に続き、教区が抱える過疎高齢化による教勢衰退の不安が述べられました。

養藤随行長のまとめに続いて、新門様お言葉は、予定を十五分超過するほどに熱がこもって、過疎、高齢化の波を乗り越えられるよう、強い励ましのお言葉をいただきました。

当教区では大遠忌記念事業として、教堂の大増築の計画が進行中ですが、お二方にはその予定地に立つて記念植樹をして頂き、関係者はあ



武田・教区会副議長が代表して決意表明をいたしました

らためて完成を期したことです。

場所を替え、夕刻から開かれた「懇談会」は和やかな雰囲気の中で開かれ、またたく間に予定の時刻が過ぎ、ご退場の折は参加者全員に会釈を頂き、一同感謝の拍手でお送りしました。

翌日、ご帰京前の時間を利用して、過疎地寺院の現状に接したいとのご希望が寄せられていましたので、今年中に解散予定の二ヶ寺の無住寺院を訪れられ、近々のご視察いただきました。

二泊三日、大変ご多忙な日程を元氣よくご巡回いただいたお二方に、心からお礼申しあげます。

## 二〇一〇年度に向けて始動 基推委員会(総会)開催される

三月二十六日(金)、二〇〇九年度の活動を振り返るとともに、二〇一〇年度に向けて、基幹運動推進委員会(総会)が開催され、二〇一〇年度教

## 二〇一〇(平成二十二)年度山陰教区基幹運動計画

### I 基本方針

基幹運動とは、阿弥陀如来に等しく救われていく往生浄土の教えを示された宗祖・親鸞聖人の生き方に学び、全員聞法・全員伝道の基本的な立場に立って、僧侶と門徒が共に手を携えながら、寺院の活性化と社会に開かれた教団づくりに取り組む運動です。

宗祖七五〇回大遠忌法要をいよいよ二〇一一(平成二十三年)に迎えるにあたり、私たちは常に自らの信心を問いながら、基幹運動の理念を体して組や寺院の活動をより一層充実させるとともに、さまざまな社会の問題に積極的に関わっていかねばなりません。

この運動を推進するために、以下の通り「目標」「スローガン」「今年度の重点項目」「教区の課題」等を設定します。

### II 目標 御同朋の社会をめざして

区基推委計画について確認された。また、各事業(行事)については、これを受けて各委員会、教化団体の協議を経て、順次決定される。詳細については、五月十九日開催予定の合同研修会、次号一一七号(七月発行予定)に発表を譲りたい。

「御同朋の社会」とは、いのちの尊さにめざめる一人ひとりが、それぞれのちがいを尊重し、ともにかがやくことのできる社会です。

### III スローガン

ともに いのち かがやく 世界へ

### IV 重点項目

一、「御同朋の願いに応える教学」に学ぶ。

二、組織教化活動の活性化を促す。

### V 教区の課題

一、組織教化活動の充実

① 組画編成に伴う基推活動のあり方をはじめ、さらなる活動の展開や活性化を図るための方策や方向性を明かにする。

② 僧侶間での課題の共有、女性の参画を促進することにより、僧侶と門信徒が歩みをともし、

基幹運動を展開する。

③ 組連続研修の継続実施によって門徒推進員を養成し、基幹運動への門信徒参画を促す。

④ 全国総代会、仏教壮年会連盟の発足を受けて、仏教婦人会をはじめ、教化組織の強化と充実をはかり、寺院の活性化を促す。

⑤ 「キッズサンガ―全寺院子どもをつどい―」に積極的に取り組む、青少年教化の充実を図る。

二、社会問題への対応

① 同和問題をはじめとするあらゆる差別撤廃に向けた取り組み

・ 「同朋教団」の再生のために、教区、ブロック、組、あるいは各教化団体で同朋運動研修会を開催する。

・ 「法名の本来化」とあわせて「法名を自らの名のとすることに向けて積極的に取り組む。

・ 宗門内外の諸団体と連携し、被差別部落の解放をめざす。

・ あらゆる差別撤廃に向けた学習を深める。

② 平和、環境、生命倫理等の問題への対応をはかる。

・ 環境、終末医療、自死、ヤスク二、青少年問題及びそれらを取り巻く社会問題などをテーマとする研修会を開催し、積極的な対応を図る。

③ 災害時には速やかな対応を図る。

三、過疎問題への取り組み

① 寺院単独、組単独での法座や教化事業が困難にある場合、複数の組及び寺院が提携してこれに当たることができるよう努める。

② 深刻な過疎問題に対する基幹運動の取り組みとして、教区布教団の協力を得て奉仕布教「としび法座」を実施するなど、積極的な手立てを講ずる。

四、文書伝道の充実

① 教区報「山陰」、教区ホームページの充実を図り、教化伝道活動、広報活動を拡大する。

② 「妙好人カレンダー」をはじめ、必要な教化資料を編集、発行する。

### VI 教区行事計画

■ 教区行事予定(別紙参照)

■ ブロックへの依頼事項

・ 組画編成に伴う一連の作業において、近隣組、特にブロック内の各組との連携を密にし、速やかな移行を図る。

・ ブロック別「基幹運動推進連絡会議」の開催。

・ ブロックでの各種行事、研修会の開催。

■ 組への依頼事項

① 各組の基幹運動推進委員会の充実を図る。

・ 組画編成に伴う課題、展望などを明らかにし、速やかな組運営を図る。

・ 門信徒の参画、女性の参画。

・ 計画書、報告書の作成、提出。

- ② 組連続研修の継続実施と門徒推進員の養成を図る。  
・組連続研修修了者並びに門徒推進員の育成と活動の充実。
- ③ 仏教壮年会連盟結成に伴い、単位の増設と組の活動の充実を図る。
- ④ キッズサンガへの取り組みを中心として、青少年対象の行事の開催。  
・組サポーターをはじめ、キッズサンガに関わる人の育成を図る。
- ⑤ 人権、差別問題をはじめとする社会問題への積極的な取り組み。「法名を自らの名のりとする」ことへ向けての取り組み。
- ⑦ 組勤式推進員を中心として、勤行、仏事などの本来化とその充実を目指す。
- ⑧ 「宗祖讃仰作法」の制定に伴い、その周知を図るための講習に取り組み
- ⑨ ビハハラ活動推進者など、人の育成を図り、個々の苦悩に寄り添う活動を展開する。
- ⑩ 組報、ホームページ等の発行や開設と、その充実を図る。
- ⑪ 組単独で行事開催が困難な場合、近隣組との合同開催を促進する。
- ⑫ 同朋運動推進僧侶研修会の開催。
- ⑬ 門信徒会運動推進研修協議会の開催。

### 山陰教区基幹運動推進委員会組織図 (平成21~23年度)



委員：●教区内5ブロック代表 (組長会選出) ●各団体代表 ●会長が必要と認めたもの 尚、委員のいない組の相談員を委員とする



Your Global Lifestyle Partner  
**株式会社JTB中国四国  
松江支店**

住所：〒690-0003  
島根県松江市朝日町480-8 松江SKYビル1F  
TEL：0852-23-2020(国内旅行) / 23-2024(海外旅行)  
0852-23-6720(団体旅行)  
FAX：0852-23-2023

伝統ある京佛具を後世に伝えたい

浄土真宗本願寺派仏具専門店  
寺院用 在家用 仏壇 仏具 記念品

株式会社  
**古田た佛具製作所**

営業時間 / 午前9時より午後5時30分 定休日 / 日・祝日  
〒600-8227 京都市下京区七条堀川上ル菱屋町(西本願寺前)  
TEL(075)343-2341 FAX(075)343-0836  
<http://www.furuta-butsumo.jp>

2008 (平成20) 年度山陰教区一般会計歳計決算

【歳 入】

款 項		20年度決算額	20年度予算額	対 比 △ 印 減	備 考
1	教 区 賦 課 金	33,673,750	33,673,750	0	
1	1 本 年 度 賦 課 金	33,673,750	33,673,750	0	
2	2 過 年 度 賦 課 金	0	0	0	
2	宗 派 助 成 金	14,678,673	14,410,000	268,673	
1	1 宗 派 助 成 金	14,678,673	14,410,000	268,673	
3	願 記 手 数 料	2,640,000	2,200,000	440,000	
1	1 願 記 手 数 料	2,640,000	2,200,000	440,000	
4	回 金	3,259,800	3,459,800	△ 200,000	
1	1 回 金	3,259,800	3,459,800	△ 200,000	
5	雑 収 入	2,513,677	2,350,491	163,186	
1	1 雑 収 入	2,513,677	2,350,491	163,186	
6	前 前 年 度 繰 越 金	8,755,959	8,755,959	0	
1	1 前 前 年 度 繰 越 金	8,755,959	8,755,959	671,859	
歳 入 合 計		65,521,859	64,850,000		

【歳 出】

款 項 目		20年度決算額	20年度予算額	対 比 ※ 印 超 過	備 考
1	教 区 事 業 費	11,787,246	14,670,000	2,882,754	
1	1 総 合 教 化 企 画 費	1,847,908	2,540,000	692,092	
1	1 推 進 委 員 会 費	1,847,908	2,540,000	692,092	
2	2 教 化 費	5,158,488	7,290,000	2,131,512	
1	1 寺 院 機 能 振 興 費	747,070	1,300,000	552,930	
2	2 婦 人 青 少 年 費	751,900	880,000	128,100	
3	3 総 代 ・ 壮 年 費	500,000	500,000	0	
4	4 研 修 費	2,063,521	3,250,000	1,186,479	
5	5 矯 正 福 祉 費	333,000	360,000	27,000	
6	6 災 害 見 舞 金	0	100,000	100,000	
7	7 文 書 伝 道 費	759,543	850,000	90,457	
8	8 教 化 活 動 費	3,454	50,000	46,546	
3	3 助 成 費	4,780,850	4,840,000	59,150	
		布 教 団 助 成 金	600,000	600,000	0
		各 種 教 化 団 体 助 成 金	140,000	140,000	0
		地 方 教 化 助 成 費	4,040,850	4,100,000	59,150
2	2 会 議 費	2,227,383	2,880,000	652,617	
1	1 会 議 費	2,227,383	2,880,000	652,617	
1	1 教 区 会 議 費	1,313,200	1,440,000	126,800	
2	2 組 長 会 費	424,723	600,000	175,277	
3	3 各 種 委 員 会 費	430,460	690,000	259,540	
4	4 職 員 会 議 費	59,000	150,000	91,000	
3	3 教 務 所 費	27,539,211	28,972,800	1,433,589	
1	1 人 件 費	23,001,897	23,122,800	120,903	
1	1 教 務 所 職 員 俸 給	6,950,400	6,950,400	0	
2	2 賞 与	1,737,600	1,737,600	0	
3	3 退 職 交 付 金	3,259,800	3,259,800	0	
4	4 福 祉 費	1,732,097	1,753,000	20,903	
5	5 推 進 専 従 員 事 務 費	5,040,000	5,040,000	0	
6	6 諸 手 当	1,162,000	1,262,000	100,000	
7	7 教 区 相 談 員 事 務 費	3,120,000	3,120,000	0	
2	2 事 務 費	2,944,721	3,700,000	755,279	
1	1 通 信 印 刷 費	1,971,471	2,200,000	228,529	
2	2 事 務 消 耗 品 費	678,508	900,000	221,492	
3	3 事 務 諸 費	294,742	500,000	205,258	
4	4 備 品 費	0	100,000	100,000	
3	3 旅 費	1,133,280	1,300,000	166,720	
1	1 交 通 費	1,133,280	1,300,000	166,720	
4	4 諸 費	459,313	850,000	390,687	
1	1 慶 弔 供 奠 費	90,000	150,000	60,000	
2	2 接 待 費	37,816	100,000	62,184	
3	3 渉 外 費	88,000	300,000	212,000	
4	4 雑 費	243,497	300,000	56,503	
4	4 回 金	13,601,835	13,934,000	332,165	
1	1 回 金	13,601,835	13,934,000	332,165	
1	1 山 陰 会 館 運 営 費	12,251,835	12,584,000	332,165	
2	2 事 務 機 購 入 費	300,000	300,000	0	
3	3 災 害 対 策 費	500,000	500,000	0	
4	4 退 職 積 立 金	500,000	500,000	0	
5	5 キ ッ ズ サ ン ガ 事 業 費	50,000	50,000	0	
6	6 「 各 種 法 要 」 積 立 金	0	0	0	
5	5 宗 会 議 員 選 挙 費	338,293	400,000	61,707	
1	1 宗 会 議 員 選 挙 費	338,293	400,000	61,707	
1	1 宗 会 議 員 選 挙 費	338,293	400,000	61,707	
6	6 予 備 費	1,101,500	3,993,200	2,891,700	
1	1 予 備 費	1,101,500	3,993,200	2,891,700	
1	1 予 備 費	1,101,500	3,993,200	2,891,700	
歳 出 合 計		56,595,468	64,850,000	8,254,532	

歳 入 合 計	65,521,859
歳 出 合 計	56,595,468
差 引 残 高	8,926,391

2010(平成22)年度山陰教区一般会計歳計予算

【歳入】

款	項	22年度予算額	21年度予算額	対比△印減	備考
1	教区賦課金	33,298,000	33,535,000	△ 237,000	
1	本年度賦課金	33,298,000	33,535,000	△ 237,000	
2	過年度賦課金	0	0	0	
2	宗派助成金	15,044,000	15,054,000	△ 10,000	
1	宗派助成金	15,044,000	15,054,000	△ 10,000	
3	願記手数料	1,500,000	1,500,000	0	
1	願記手数料	1,500,000	1,500,000	0	
4	回金	100,000	830,000	△ 730,000	
1	回金	100,000	830,000	△ 730,000	
5	雑収	1,181,609	3,069,700	△ 1,888,091	
1	雑収	1,181,609	3,069,700	△ 1,888,091	
6	前前年度繰越金	8,926,391	6,761,300	2,165,091	
1	前前年度繰越金	8,926,391	6,761,300	2,165,091	
	歳入合計	60,050,000	60,750,000	△ 700,000	

【歳出】

款	項目	22年度予算額	21年度予算額	対比△印減	備考
1	教区事業費	15,094,000			
1	総合教化企画費	2,290,000			
1	推進委員会費	2,290,000			
2	教化費	8,214,000	7,564,000	650,000	
1	寺院機能振興費	2,150,000	1,750,000	400,000	
2	婦人青少年費	1,030,000	1,080,000	△ 50,000	
3	総代・壮年費	500,000	500,000	0	
4	研修費	3,344,000	3,044,000	300,000	
5	矯正福祉費	190,000	190,000	0	
6	災害見舞金	100,000	100,000	0	
7	文書伝道費	850,000	850,000	0	
8	教化活動費	50,000	50,000	0	
3	助成費	4,590,000	4,590,000	0	
1	布教団助成金	350,000	350,000	0	
2	各種団体助成金	140,000	140,000	0	
3	地方教化助成費	4,100,000	4,100,000	0	
2	会議費	2,690,000	2,540,000	150,000	
1	会議費	2,690,000	2,540,000	150,000	
1	教区会議費	1,240,000	1,240,000	0	
2	組長会費	600,000	600,000	0	
3	各種委員会費	700,000	550,000	150,000	
4	職員会議費	150,000	150,000	0	
3	教務所費	24,897,000	25,297,000	△ 400,000	
1	人件費	19,147,000	19,147,000	0	
1	教務所職員俸給	6,420,000	6,420,000	0	
2	賞与	1,355,000	1,355,000	0	
3	退職交付金	0	0	0	
4	福祉費	1,950,000	1,950,000	0	
5	推進専従員事務費	5,040,000	5,040,000	0	
6	諸手当	1,262,000	1,262,000	0	
7	教区相談員事務費	3,120,000	3,120,000	0	
2	事務費	3,700,000	4,200,000	△ 500,000	
1	通信印刷費	2,300,000	2,200,000	100,000	
2	事務消耗品費	800,000	800,000	0	
3	事務諸費	500,000	500,000	0	
4	備品費	100,000	700,000	△ 600,000	
3	旅費	1,300,000	1,200,000	100,000	
1	交通費	1,300,000	1,200,000	100,000	
4	諸費	750,000	750,000	0	
1	慶弔供奠費	150,000	150,000	0	
2	接待費	100,000	100,000	0	
3	渉外費	200,000	200,000	0	
4	雑費	300,000	300,000	0	
4	回金	14,350,000	14,290,000	60,000	
1	回金	14,350,000	14,290,000	60,000	
1	山陰教堂運営費	13,000,000	12,940,000	60,000	
2	事務機購入費	300,000	300,000	0	
3	災害対策費	0	0	0	
4	退職積立金	1,000,000	1,000,000	0	
5	キッズサンガ事業費	50,000	50,000	0	
6	「各種法要」積立金	0	0	0	
5	宗会議員選挙費	100,000	100,000	0	
1	宗会議員選挙費	100,000	100,000	0	
1	宗会議員選挙費	100,000	100,000	0	
6	新門様ご巡回費	0	2,550,000	△ 2,550,000	
1	新門様ご巡回費	0	2,550,000	△ 2,550,000	
1	法要行事費	0	350,000	△ 350,000	
2	懇談会費	0	1,200,000	△ 1,200,000	
3	帰敬式冥加金	0	1,000,000	△ 1,000,000	
7	予備費	2,919,000	1,129,000	1,790,000	
1	予備費	2,919,000	1,129,000	1,790,000	
1	予備費	2,919,000	1,129,000	1,790,000	
	歳出合計	60,050,000	60,750,000	△ 700,000	

# 門徒総代会 三地区にて研修会を開催

平成二十一年度山陰教区門徒総代会研修会が鳥取、出雲、石見それぞれの地区で開催されました。

## ●鳥取地区

一月二十五日 伯耆組香宝寺

## ●出雲地区

二月八日 出雲市民会館

## ●石見地区

二月九日 福屋組千田浄光寺

三地区とも、ご講師に澤田隆之師（教区基幹運動推進委員会副会長、邑智東組西林坊住職）をお迎えし、新しく制定された『浄土真宗の教章―私の歩む道―』について講義をいただきました。

その後、各班に分かれて分科会が開かれ、講義の内容や各寺院での取り組みについて、意見交換が行われました。そして、分科会終了後、各班で話し合われた事項について発表いただきました。

鳥取地区では、『教章』から「見真大師」の表記が削除された理由についての質問や、組画編成についての問題提起、総代の高齢化によってお寺の世話をする人が少なくなるなどの意見がありました。また、総代として取り組むべきことは、まず、自宅の仏壇の前に座る姿を自分の子や孫に見せることから始めるべきであるという意見

もありました。

出雲地区では、どうやったらお寺にお参りいただけるか、各寺院での事例をもとに意見交換が行われていたのが印象的です。『教章』の「教義」の項目についての質問や、変化の激しい現代において、お寺も新しい考え方で取り組むべきであるという意見もありました。また、総代の世代交代、後継者問題について話し合っている班もありました。

石見地区では、なぜ今『教章』が改正されたのかという質問、また、新しくなった教章をこれから寺の活動に活かしていきたいという意見がありました。そして、この門徒総代会研修会のあり方を検討し、もっと活発にして欲しいという意見もありました。

最後に、再度澤田隆之師よりまとめの講義をいただき、各班からの質問や意見に丁寧な回答をいただきました。

全地区を通じて、現在山陰教区の寺院が抱えている過疎、少子高齢化という課題に向けて、総代として何をしたら良いのか、ご参加された方お一人お一人が真剣に考えておられる姿が印象的でした。

# 仏教壮年連盟結成 全国大会に参加して

飯石南組 一念寺 無量会 信藤 一郎

平成二十一年十月十日、本山御影堂において全国から約六百名が集まり結成大会が開催されました。

山陰教区から十二名が参加しましたが、今回、私は初めて御影堂へお参りさせていただきました。

毎年、泊まり込みの念仏奉仕団に参加したいという思いはもってはいましたが、いまのところ家庭の事情で日帰り参拝しかできないので、連盟結成大会が本山であることを知った昨年夏に、我が無量会役員会の場で、「私一人でも日帰りで参加します。」旨の立候補をしました。幸い、一人の役員が同行したいと申し出て、結局一念寺無量会から二人が参加しました。

御影堂前に、会員の皆さんが集まれる姿をみて感じたのは、数人を除き、ほとんどの方が仏教壮年会連盟会員式章をつけておられたことです（おもわず『私も購入していいよかった』と胸をなでおろしました）。

また、私より年配の方が非常に多いことにもいささかびっくりし、

少し寂しく感じました。

仏社会の組織率は、山陰教区においては、二十パーセントを下回っています。

本結成大会の決意表明どおり、今こそ『親鸞聖人のみ教えに聞き、朋友の輪を拡げ、心豊かに生きる社会の実現』にむけて、仏社会員みんなが、それぞれの地域で活動の輪を拡げていきましょう。

お仏壇・仏具は やっぱり京都・・・



伝統工芸 京仏壇・京仏具

(株) 若林

www.wakabayashi.co.jp

京都本社 / 京都市下京区七条通新町東入 (075)371-3131 (代) 年中無休 600-8218

フリーダイヤル ☎0120-37-8585 (各店共通)

東京店・築地店・札幌店・仙台店  
近江草津店・福岡(営)・新潟(営)

E-mail info@wakabayashi.co.jp

Support 750  
MADE IN KYOTO

### 教区青年布教使

#### 研修会に参加して

邑智西組 光西寺  
石橋直人

さる二月三日、三隅組禮光寺において教区布教団青年布教使研修会が開催されました。

当日は若手僧侶六名による布教実演が行われ、今回私も実演させて頂き、また多数の御同行の方が参詣され、私達の法話を熱心に御聴聞されました。

前席後席と三名ずつ実演し、私は前席の二人目として実演しました。しかし日頃の勉強不足や準備不足、そして緊張のせいでガチガチになり、布教とは言えないものになってしまいました。

研修会終了後、朋澤智弘副団長、北島清秀役員の御二方より論評を賜り、実演者一人一人の布教に対し気づいた点や改善点、注意点など厳しく、また温かく丁寧に御指導して頂きました。

私は今回の実演を通し、多くの課題や自分に今足りないもの、何を勉強するべきかというものに気づかせてもらい、この場に立たせて頂いたことをとても嬉しく思います。

課題は沢山あり、あげればキリがないのですが一つ一つクリアし、今後に活かしたいと思えます。

### 矯正教化連盟 広島管区支部

#### 「教誨師研修会」に参加して

浜田組 順興寺 岳田忍司

二〇一〇年二月八日、九日の両日、備後教区支部引受による本年度「教誨師研修会」に参加のご縁を頂き、自覚を新たにしました。

本派矯正教化連盟副会長・本川秀暁先生のインパクトのある「扉の中の浄土真宗」を講題に、二時間の講話を頂きました。

先生自らの体験を基に、「教誨師としての宗教教誨のあり方・教誨が目的とするもの」を主題に、今日までの歴史の経緯をおさえ、実践として「受刑者に宗教教誨をとおし人間回復、更生、社会復帰」を第一義に、受刑者の幸せのために信仰の上から幸せを築くべく奉仕の活動と強調されました。

その自らの活動母体は、松山善昭先生の、「教誨というものは仏法をわが身に頂いて、自信教人信の力をいたす。その光に対する気付きを助言する。」と。この一文が宗教教誨の根源を貫くものと研修会を結びました。



### 「宗祖讃仰作法」の制定を受けて

#### 組勤式推進員研修協議会 特別法務員・法務員試験合格者研修連絡協議会

「組勤式推進員研修協議会」では去る二月五日、本願寺山陰教堂にて「組勤式推進員研修会」を開催しました。

組勤式推進員は平成二十年度より配置され、組内での勤式普及徹底を目指しています。法要には各種作法がありますが、昨今「宗祖讃仰作法」依用の機会が増えて

います。来年には大遠忌法要もお勧めになります。ますます普及が急がれます。しかし、普及するにあたりどのような研修をすればよいか

等、「研修会の持ち方」について多く意見を寄せられました。それを受け、組内研修会の手引きについて研修会を開催いたしました。

一方、「特別法務員・法務員試験合格者研修連絡協議会」は組勤式研修協議会より一週間後、二月十二日同じく山陰教堂にて開催されました。この度は、講師に本願寺

会役者・山本英信師をお迎えして、「宗祖讃仰作法」の技量の維持・向上を目的といたしました。正信偈

六首引きと同じ「大衆唱和」のお勤めとして位置づけられている同作法ですが、各組においても「宗

祖讃仰作法」の活用の多くなる中、

特別法務員・法務員の活躍が期待されます。

また、法要式典部より講師出向をいただき、教区内三地区で「宗祖讃仰作法」の講習会が予定されています。日程は以下の通りです。

#### 【鳥取地区】

平成二十二年六月十九日(土)  
於 伯耆組香宝寺

#### 【出雲地区】

平成二十二年六月二十日(日)  
於 松江市・くにびきメッセ

#### 【石見地区】

平成二十三年二月二十七日(日)  
於 江津市・市民センター

詳細については、後日ご案内いたします。



### 教区ビハーラ研修及び 公開講座から見えたもの 耳を傾け、寄り添って

二月二十三日、出雲市民会館に於いて、ビハーラ研修会並びにビハーラ公開講座が開催されました。午前は「ビハーラの可能性」と題して研修会を、ビハーラ活動者を中心に五二名の参加を得て開催し、午後は「温もりと笑顔の中で」と題して、一般の方々を含めた公開講座とし八〇名、延べ一三二名の参加を得て開催いたしました。

講師には「病院の中にあるお坊さん」として、「鹿児島緩和ケアネットワーク代表世話人会」及び「国立鹿児島医療センター緩和ケアチーム」等のメンバーとして活躍されている、鹿児島教区善福寺・長倉伯博委員をお招きしました。宗門のビハーラ活動推進委員会委員としてもご活躍です。

午前の研修会は本山の「ビハーラ活動者養成研修」を修了し、現在各組、各地域でのビハーラ活動に携わっている方を中心に、チームとして取り組むビハーラ、一人でもできるビハーラと、それぞれがおかれている場を視野に入れないながら、実際の現場での様子を交え、少し専門的な内容を含んだ講義をいただきました。

午後の公開講座では、総代、仏婦、仏壯、門徒推進員などを交えて、「患者の心、家族の心」について、長倉先生の医療現場での失敗談を交えた体験

や通夜や仏事の場合がビハーラの活動場所であることなど、普段私たちが見逃している点について指摘を受けました。

一人の人が亡くなると、その周囲には配偶者であったり両親であったり、あるいは子どもや兄弟であったり、その悲嘆に暮れる人が五倍、十倍いるという視点。年間三万人が自殺（自死）されるという時代、年間百万人を越える人が病气などで亡くなっているという時、その周囲にどれほどの悲しみに沈む人がいるのか。そのことの重大さを改めて知らされました。

また、ビハーラ活動は、病院であったり患者さんであったり、色々な宗教を持っている人々と接する場であることから、そうした方々と協調しながら信頼を得、初めて「あなたお坊さん・・・?」「真宗では・・・?」と踏み込んだ会話ができていくということなど、「真宗 イズ ベスト」というところから、「真宗によって育まれる人格・人間性」が問われていることも示唆されました。

多くの方々が悲しみ、苦悩の中におられる。耳を傾け寄って行く活動に、まず一步を踏み出しましょう。



### 中国ブロック 「お待ち受け行事」を終って 実行委員会委員 邑智東組 西林坊 澤田隆之

三月四日～六日広島ALSOCKホールに延べ七千人の観客を集めて親鸞聖人七五〇回大遠忌中国ブロック記念公演「創作劇 善人なおもて往生をとぐー親鸞わが心のアジャセー」感動の舞台に幕が降り、盛会裏に「広島市における法要行事」が終了いたしました。

これに先立つ三月三日本願寺ご門主さまをお迎えし、「記念式典親鸞さまとであう集い」が広島国際会議場ホールに千七百人満場の参加者を得て、第一部音楽礼拝、第二部創作劇出演者による公募詩「いのちの讃歌」入賞作品の朗読、第三部盲目のテノール歌手・新垣勉さんコンサートと三部構成によるプログラムで開催されました。

集いの冒頭、ご門主さまより「世のなか安穩なれ」のスローガンのもと明年四月より勤修される親鸞聖人七五〇回大遠忌法要に向けて、門徒徒をはじめ多くの方々のご懇念により、ご影堂修復を含む多くの環境整備はほぼ完了することが出来た。しかし、変革の時代と言われる今日、混沌とした社会にあって、聖人を単に歴史上の人物としてではなく、「本願を信じて念仏を申さば仏に成る」とのお言葉を「ただいまのいのちの導きをいただく師」と仰ぎ、

それぞれ人生の局面、苦しい時、楽しい時として日常不断にお念仏の心をいただき、積極的に諸課題に向かった取り組みをするよう願っているとお言葉頂きました。

集いの後、ご門主さまをはじめ参加者全員が原爆死没者慰霊碑への献花を行い、「世のなか安穩なれ」の誓いを新たにしたことでもあります。

明年四月より勤修のご本山大遠忌法要円成に向け「お待ち受け」の気運醸成を図ると共に、「内から外へ」「お念仏のご縁の薄い方々に働きかけ、呼びかけ」を合言葉に、中国ブロック四教区が協力実行した「広島市における法要行事」は成功裏に終了することが出来ました。

「いのちの つながりを 大切に」をテーマにした中国ブロックの諸行事は、安芸教区に中心的役割を担って頂き、主催、協賛の十三事業を実施、十万人を超す参加者を得ました。安芸教区をはじめ各教区の皆さまに敬意を表し、明年法要の円成と新たな歩みの第一歩の強からんことを念じつつ。

【お詫びと訂正】創作劇「善人なおもて往生をとぐー親鸞わが心のアジャセー」のパンフレット(15頁)掲載の積尊年表に、中川英尚著「観無量寿経」の「世界」からの引用という表示記載が漏れておりましたこと、深くお詫び申し上げます。

親鸞聖人750回大遠忌  
中国ブロック記念事業実行委員会

私は東京生まれの東京育ちです。ご縁あって島根県のお寺の一人娘と結婚し、この川平の地に来てから六年が経ち、そして先代が亡くなり住職になったから三年が経ちました。

東京で生まれ育ったので東京の常識が世の常識だと思っていたのですが、島根県に来てその感覚は見事に打ち消されました。東京のお坊さんのイメージはみんなベンツに乗っていて、お寿司は時価の店にだけ行って、葬儀のお布施は袋が立つくらい貰って、法名

(戒名)をつけてまた袋が立つくらいお布施を貰って、飲み会は銀座、そんな感じでした。実際私の友人は全員羨ましがっていましたし、私自身もそんなイメージでした。

ところが、それはほんでもないことで、東京のお坊さんだけのものだと気付くまで、そう時間ばかりありませんでした。

私のお寺がある川平町は、四月に一組の若い夫婦が出て行くため、二十代の夫婦は〇人で、三十代の夫婦は私たちだけになります。そしてこの川平で生まれた子どもは、私の六才の娘の後は昨年八月に生まれた私の息子のみ、即ち六年間ここで生まれた子どもはいないこととなります。はっきり言って人口の流出は努力でどうこうできる問題ではなく、十年、二十年先を思うと、お寺もさることながら町自体の維持が

できない、そんな町にお寺があります。そんな中で思うのは、理想と現実のギャップです。

寺院活動についても色々と考えます。お寺というのは、お法(みのり)を広める拠点であり、人の心の拠り所でもあります。本堂に書かれてある今まで護持してくれた門信徒の方々の沢山のお名前を見ると、その思いをありがたく、重く受け止めるところです。しかし、「お法を世に広めたい」という思いだけでは成り立って行かない現実もあります。

帳 楽 憂  
明日撒いた種が咲くときは

江津組 正福寺住職  
三浦 誠

「お寺にお法が無いのは、お店に商品が無いのと同じだからね。」と坊守は、祖母の言葉をいつも言います。今私にできることは、まず私がお法をいただき続けること。門徒さんや必要としてくれる方々を大切に、一回一回の法座や月参りにできるだけ心をこめて伝えること。手紙や寺報を書くこと。その上で時代の変化に対応できるようにスキルや感性を身につけて、十年、二十年先の「リアル」を見据えた寺院活動をしていきたいと思っています。

まず、この原稿を書いている翌日の二月二十七日、二十五年ぶりの子ども会を開きます。十人の子ども、六人の大人が参加予定です。明日撒いた種が、いつか心の中で咲きますように。

山陰教区組画編成等調整委員会名簿

役員  
教区委員長 日溪 清毅  
教区副委員長 小笠原寧之  
常任委員 澤田 隆之  
原田 光生  
藤飛 昭憲  
藤谷 崇文  
朝枝 弘照  
須山 鈴治  
山名 法道  
藤川 昭信  
高野 顯信  
玉野 覚明  
大石 寛隆  
菅原 憲香  
三瓶 暁  
寺本 介芳  
毛利 諦善  
西原 眞性  
能美 龍雄  
金澤 英信  
岡本 広樹  
奥田 眞隆  
山本 眞文  
田中 憲哲  
能美 紹隆  
月洞 昇道  
中村 大澄  
西元 一道  
武田 宏  
山崎 知精  
三成 佑市  
大原 一穂  
竹下 正俊  
松林 茂  
森脇 登  
笠川 紹隆  
森崎 禎璋  
吉本 告清

委員

伯因福福川川仁大松出出伯益三福浜江邑市千川佐仁大三大大石飯松出因鹿邑温飯大邑仁神  
耆幡屋屋本本摩森江雲雲耆田隅屋田津東山須賀本波摩森瓶田東飯石南江雲幡足智泉石家智東摩門

平成22年度 山陰教堂「燈映会」予定一覧表

燈映会法座	実施月日	組名	寺院名	出講者名	備考	
各月 午後 1:30~	4月21日(水)	三隅	西方寺	河野 直慈		
	5月21日(金)	伯耆	覚善寺	千石 知芳		
	6月21日(月)	大森	浄土寺	大原 一穂		
	7月21日(水)	佐波	西念寺	岡田 哲水		
	8月20日(金)	鹿足	円徳寺	篠部 洪紀		
二法要 (10月と1月) 午前 10:00~ 午後 1:30~	9月21日(火)	飯石南	福泉坊	藤井 哲真		
	10月21日(木)	深川	順覚寺	楢崎 正道	会館落成法要	
	11月は休座					
	12月21日(火)	石東	立善寺	菅本 了道		
	1月21日(金)	飯石南	高林坊	橋本 明宣	御正忌報恩講法要	
	2月21日(月)	市山	長玄寺	岡本 広樹		
	3月18日(金)	三隅	禮光寺	月洞 昇道		

昭和33年10月  
たった1台のタイプライターから  
当社の歴史は始まりました

あなたの要望を形に!  
商業印刷  
印刷の原点はここにある  
出版印刷  
活用方法は無限大  
マルチメディア制作  
出力サービスもおまかせ  
オンデマンド印刷  
イベント用ポスターなど



株式会社谷口印刷  
TANIGUCHI PRINTING CORPORATION

〒690-0133 松江市東長江町902-59 朝日ヒルズ  
TEL(0852)36-5888 FAX(0852)36-5889

# 本願寺山陰教堂教化センター報告

現在標記計画における募財状況は、本年度七〇％目標に対し、五六・七％金額は、五千二百万円の収納状況です。今後の予定は建設工事

- ①業者選定。平成二十二年十月一日から十月末日まで予定。
- ②解体工事。平成二十二年十一月一日

## 組画編成について

### I 組画編成の趣旨

・教区編成等基本問題検討委員会（平成十七年宗則第6号に基づき設置）において審議検討が重ねられ今日の教区・組という区分・教区のあり方、組のあり方について見直す時期がきており、現行の教区において組画の再編成を強力且つ速やかに計画・実施すべきとの結論が示された。

・現行の組画は「教区・組」の区分が設けられて既に半世紀が経過した。  
・各組間において構成する寺院数に較差が生じてきた。  
・市町村合併による組区画と国家行政区画との相違、組の名称が現在の地域名称と異なる。

### II 現行の組画における問題点

・寺院数が少ない組においては、役職

から十一月末日まで予定。

- ③建築工事。平成二十二年十二月一日から平成二十三年五月末日まで予定。なお、支払計画については、平成二十三年六月末日には、累計八千六百五十拾万円の計画です。落慶法要については、今後協議を重ねて決定する予定です。

を割り当てる為の人員不足や収入面などから、基幹運動の推進などの組活動に限界がある。

・寺院数の多い組は、組全体を取りまとめることが難しく、活動に参加しない寺院の存在や事務伝達などに時間を要する。  
・組の名称が現状の地域名称と異なるため分かりにくい点など。

### III 組画編成の基本方針

・組画の編成は、組の吸収合併や寺院単位で組間を移動するものではなく、現行の組画を一旦白紙に戻したうえで、時代に即した新しい組織としての組を編成する。  
・組名については宗門独特の名称を用いるよりも一般社会に適合した名称を選択する。

### IV 組画編成の基本的な考え方

（但し各々の実情に合わせ調整されるもので、この三項目に制限されるものではない）

- ①一組三〇カ寺を目処とする。
- ②構成する地域が都道府県をまたがない。
- ③構成する地域を可能な限り市郡町村内でまとめる。

### V タイムスケジュール例

- 平成二十二年六月  
・教区委員会より教務所長へ中間答申書提出
- 平成二十二年七月～十二月  
・教務所長より総局へ中間報告
- 平成二十二年七月～十二月  
・教区委員会において調整
- 平成二十三年一月  
・新組画原案の策定
- 平成二十三年二月  
・組画編成公聴会実施
- 平成二十三年六月  
・教務所長より総局へ最終答申書提出「新組画編成家」について教務所長より総局へ報告
- 平成二十三年九月  
・教区会にて組の区画の変更について議決
- 平成二十三年十月  
・総局告示（組の区画の変更）発布。
- 平成二十三年十月  
・新組画体制における新組長就任予定者の選出
- 平成二十四年四月  
・周知徹底、事務及び財産の引継など。新組画体制発足（目標）

御本山 **近** 用達

株式会社 **川勝法衣店**

フリーダイヤル 0120-075-055

(600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入

電話 (075) 371-0367 (代)

FAX (075) 371-5088

御本山御用達 開明社員

**井筒法衣店**

代表取締役社長 幾田潤

(〒600-8503) 京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前)

フリーダイヤル TEL 0120-075-720

フリーダイヤル FAX 0120-075-490

- ・幕章袋式
- ・徒式衣
- ・門扉品
- ・旗念珠・念珠・帷子
- ・裳袴袴襪
- ・袷袴袴襪
- ・袷切布
- ・條袴衣・敷
- ・七五色黒打



# 大遠忌に向けて

仁摩組長 大雄寺 毛利 諦善

平成二十四年一月十六日は宗祖親鸞聖人の七百五十回忌にあたります。

本願寺ではご修復を終えた御影堂において、親鸞聖人七百五十回大遠忌法要が平成二十三年四月より厳修されます。

仁摩組におきましては平成二十三年六月十二日から十四日までの日程で団体参拝をする予定にしております。

平成二十二年六月二十日には、大森組と合同でお待ち受け法要をお勤めします。実行委員会を僧侶、寺婦、総代、仏婦、仏壮、門徒推進員で構成して、いよいよ法要に向けての活動を開始し準備をすすめております。

仁摩組の例年の行事計画は僧侶寺婦、総代、仏婦、仏壮、少年教化、連研、組報の各専門部会で組織教化を行なっています。仏壮については以前から続いていましたが単位登録して活動を始めました。

連続研修会は第八期が修了しましたが、年々参加者が少数固定するなどの課題をかかえていますので、今後の取り組みについて検討中であり、形式や内容を変えることにより参加者の増加を期待しているところ

です。

仏教婦人会は七単位の仏婦が持ち回りで仁摩組仏婦大会を毎年行なっています。高齢化が進みむずかしい面もありますが仏婦会員や担当寺院の協力で熱心開催されています。

キッズサンガの取り組みとして年一回夏休みに「ほとけの子どもの集い」を行なっています。子どもたちが参加して楽しむ姿をみるとき教化の大切さを感じます。

その他の行事として「門信徒会運動研修協議会」を年一回行なっています。門信徒と僧侶、寺族が社会の問題を共に話し合うことにより組の連携がはかられ、活動がより一層充実して組の発展へとつながっていくことを願っています。そして浄土真宗門徒として「御報恩のために御念仏ころにいられて申して、世のなか安穩なれ、仏法ひろまれ」と願われた、親鸞聖人のおこころに思いを寄せて、一人ひとりが念仏者としてあるべきすがたを求められていることについて、思いを新たにしたいものであります。

## 編集後記

子供の頃、よく宿題の日記を溜めては叱られました。今読み返しても過去の記録として全く役に立ちません。

教区報は「教区の歴史の記録でもある」と編集会議でよく耳にします。それぞれの時代を生きた私達が、お聖教に聞いていく中に、具体的な問題にどの様に向き合い、道を示されてきたのかという記録でもあるのだと思います。

お聖教のように時代を超える真実そのものと言えるような言葉だけが綴られているわけではありません。しかし教区報は、其々の時代に適したかたちでおみりを伝え、味わった先達の言葉の記録であり、念佛者の生活の日記のような面があるのだな、と思いました。

宿題の日記で挫折しつづけた私が、委員として何が出来るのか甚だ心もとなく思います。しかし教区報が、少しでも同時代や未来の人々のお念佛相続の助け、励みになるよう頑張らねば、と思う編集会議でありました。

(M・K)

……ともに いのち かがやく 世界へ……

「大遠忌法要」の団体参拝の計画は  
「念仏奉仕団」お気軽にご相談下さい。

……旅のことならどんな事でも……



**knt!** 近畿日本ツーリスト

〒690-0887 松江市殿町171番地  
(国土交通大臣登録旅行業第20号)

ここにこ よやくさんぼん  
☎(0852) 22-4893